

SHARP

ネットワークカメラ

YK-P02AG

設置ガイド



シャープ株式会社

もくじ

設置する前に必ずご確認ください.....	3
付属品の確認.....	4
取付金具.....	5
設置前の動作確認.....	6
microSD メモリーカードをセットしてください.....	6
カメラを設置してください.....	10
【YC-MW02 との組み合わせでの設置】.....	10
【YC-MP02 との組み合わせでの設置】.....	21
【YC-MC01 との組み合わせでの設置】.....	25
オーディオ端子、アラーム端子、ビデオ出力端子の接続.....	30
カメラの初期化方法.....	32
付録.....	33

設置する前に必ずご確認ください

ネットワークカメラの設置を安全におこなうために、次の点を必ずお守りのうえ、設置作業を正しく実施してください。

- 設置工事はおお客様ご自身で実施せず、必ず販売店または専門の設置業者にご依頼ください。
- 本製品は、IP66 に準拠した屋外対応の仕様となります。屋外対応の詳細については、取扱説明書（基本編）「主な仕様」をご確認ください。
- 製品仕様の使用環境（温度（-20℃～50℃）、湿度（10%～90%RH）、結露なきこと）の範囲内でご使用ください。
- 曲面、段差、凹凸によって本体が安定して取り付けられないような場所には設置しないでください。
- 強い電磁的なノイズの影響を受ける場所には設置しないでください。映像が乱れる原因になります。
- 磁気干渉を避けるため、磁石やスピーカーの近くには設置しないでください。
- 石こうボードや板材など、強度が不十分な場所に取り付けしないでください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。
- ケーブルの曲がり半径はケーブル径の 5 倍以上としてください。また、ケーブルの長さには十分に余裕を持たせてください。
- オーディオ端子、アラーム入力端子、アラーム出力端子、ビデオ出力端子を使用する場合は、各ケーブルを確実に接続してください。
- RS-485 の端子は使用しません。
- カメラを分解しないでください。故障の原因となります。

付属品の確認

箱を開けて、以下のものが入っていることを確認してください。

<p>カメラ本体 ×1 落下防止ワイヤー ×1</p>	
<p>取扱説明書（基本編） ×1</p>	
<p>レンズカバー用ネジ ×4（予備※）</p>	

※ 予備は、なくした場合にのみ使用してください。

取付金具

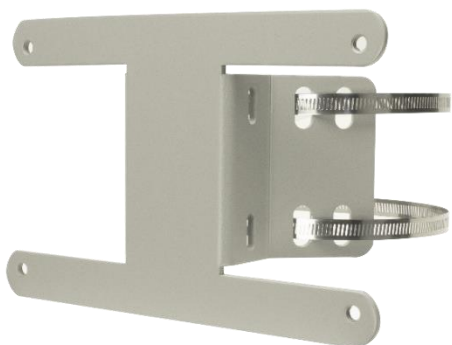
本製品を設置するには、以下 3 モデルの専用の取付金具を用途に合わせて使用してください。

【YC-MW02（壁面設置用）】



【YC-MP02（ポール（支柱）設置用）】

※YK-MW02 と組み合わせて使用する必要があります。



【YC-MC01（天井設置用）】



設置前の動作確認

カメラの設置を行う前に、カメラの設定および動作確認を実施してください。

設定の手順は取扱説明書(操作・設定編)をご確認ください。

また、NVR(ネットワーク・ビデオ・レコーダー)と合わせて設置する場合には、事前に接続の設定を実施した上で、映像の撮影などの基本機能に問題がないことを確認してください。

microSD メモリーカードをセットしてください

※メモリーカードのセットは必須ではありません。セットしない場合は、P.10の「カメラを設置してください」から作業を始めてください。

1. プラスドライバー(2番)でレンズカバーのネジを緩め、レンズカバーをはずしてください。紛失を防ぐため、レンズカバーのネジは完全にはずさなくても、レンズカバーをはずせるようになっています。

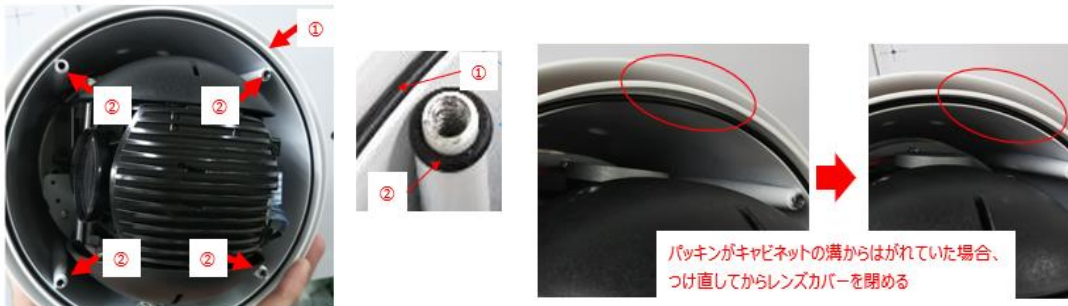


2. レンズの裏側にあるメモリーカードカバーを開け、microSD メモリーカードをメモリーカードスロットに挿入してください。microSD メモリーカードを取り出すときは、再度押し込んでから引き出してください。挿入後は、メモリーカードカバーを正しく閉めてください。



【ご注意】

- 必ず電源を切った状態で作業してください。電源を切らない場合、カメラの自動動作により、手などの巻き込まれ事故が発生するおそれがあります。
- microSD メモリーカードは「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと指で押し込んでください。
- microSD メモリーカードの向き(端子面が外向き)に注意してください。
- microSD メモリーカードは、フォーマットしてからご使用してください。フォーマット方法は、取扱説明書(操作・設定編)を参照してください。
- microSD メモリーカードの端子面に直接触れないように注意してください。万一、直接触れて指紋などが付いた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取るようにしてください。
- スロットと本体のすき間に間違っ て microSD メモリーカードを差し込まないでください。
- レンズは触らないように注意してください。傷や汚れの原因となります。傷や汚れが付いてしまった場合は、柔らかく清潔で乾いた布(綿、ネル等)でやさしく拭いてください。
- レンズカバーをはずしたときに、カメラ本体についている防水パッキンがはがれた場合は、キャビネットの溝につけ直してからカバーを閉めてください。防水パッキンが正しく装着していないと浸水の原因となります。また防水パッキンは一部、キャビネットボンドで固定されているため、完全に落下しない仕様となっています。



防水パッキン(①、②x4)がキャビネットに正しく装着していることを確認する

- メモリーカードカバーを開けたままにしないでください。カメラ動作中にレンズカバーとカメラ本体を繋いでいる落下防止ワイヤーと干渉し、動作不具合の原因となります。



- 落下防止ワイヤーは必要以上に引っ張らないでください。また、落下防止ワイヤーのスプリング部分が変形するような荷重を加えないでください。スプリング部分がたるんでいたり、変形したりしているとカメラ動作中に落下防止ワイヤーがカメラ本体と干渉するおそれがあり、動作不具合の原因となります。

3. プラスドライバー(2番)でレンズカバーのネジを締め付けてください。ネジは緩むことのないようにしっかりと締め付けてください。締め付けた後、本体とレンズカバーの間にすき間が空いていないことを確認してください。

防水・防塵性能、カメラの動作性能を維持するため、【ご注意】をご確認のうえ、取り付けてください。



NG



OK

【ご注意】

- 0.59N・m(6kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- レンズカバーを取り付けるときに、側面のパッキンが正しく装着されていることを確認してください。(筐体外周にパッキンがはみ出していないこと。) また、異物を挟みこまないように注意してください。
- キャビネットに装着しているパッキンに異物の付着がないことと、パッキンが正しく装着されていることを確認してください。異物の要因として、レンズカバーを開けることで、取付用のビスから発じんする削り粉がパッキンに付着することがあるため、削り粉をきれいに取り除いてからレンズカバーを取り付けてください。浸水の原因となります。



NG

ビスの削り粉などはきれいに取り除くこと
(パッキンに異物付着がないこと)



NG

パッキンが溝からはみ出していたら
パッキンを溝につけなおすこと

- レンズカバーとキャビネットを繋いでいる落下防止ワイヤーがカメラユニット側に飛び出していないか確認してください。カメラ動作中にワイヤーがカメラユニットと干渉するおそれがあります。



OK



NG

カメラユニット

落下防止ワイヤーがカメラユニット側に膨らんでいると
カメラユニットと干渉するおそれがある

カメラを設置してください

本製品は壁面、ポール、天井への設置に対応しています。

設置場所に十分な強度があることを確認した上で設置をおこなってください。

また、天井設置の時は、天井に開けた穴に通して配線する方法と、側面開口部からケーブルを引き出して配線する2通りの配線をサポートしています。穴に通して配線する場合は事前に天井に穴を開けてください。

【ご注意】

- 石こうボードや板材など、強度が不十分な場所に取り付けしないでください。
- 壁や天井の材質に見合った市販のネジやアンカー等を使用してください。詳しい作業手順については、使用する機材の作業手順をご参照ください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。
また、天井・壁が原因（強度不足、経年劣化など）による落下についても弊社で一切その責任を負いません。
- カメラはレンズカバーが真下になるように設置してください。それ以外の方向で設置されたことにより、事故や損害が生じた場合、弊社は一切の責任を負いません。
- カメラ本体、取付金具を使用しなくなった場合は、放置せず、必ず設置場所から取りはずしてください。天井の劣化などにより、落下の原因となります。

【YC-MW02 との組み合わせでの設置】

本金具は壁面設置専用金具です。

金具を壁面に取り付け、カメラ自体が吊り下げられた状態（レンズカバーが真下となる）となるように設置してください。

それ以外の方向での設置は、落下やカメラの内部に雨水が浸水するなどして故障の原因となるため、絶対にしないでください。

付属品

- ① カメラ固定用六角穴付きボルト 1/4 インチネジ(ビス) ×4
- ② 六角レンチ ×1
- ③ ドリルテンプレート ×1
- ④ 歯付きワッシャー ×1
- ⑤ 落下防止用ワイヤー固定ビス M4-10mm ×1
- ⑥ 製品取り扱いのご注意 ×1

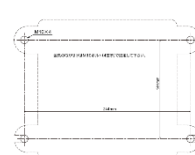
①



②



③



④



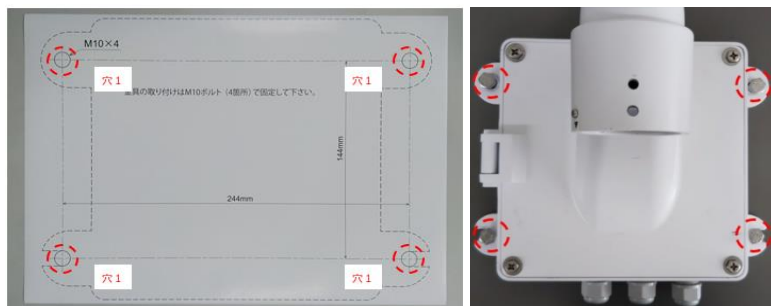
⑤



⑥



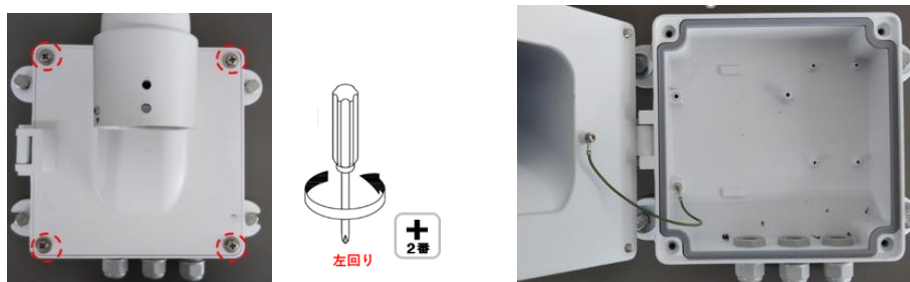
1. ドリルテンプレートの穴1に合わせて設置場所にドリルで取り付け用の穴を4箇所開けて、ボルト・ナット等で取付金具を組み付けてください。コンクリートなど、ナット締め付けができない場所に取り付ける場合には、設置箇所に適したアンカー及びボルトなどを使用して正しく設置してください。



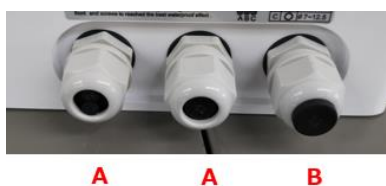
【ご注意】

- 本製品、本金具には壁面に設置するボルト、アンカーは同梱していません。設置する壁の材料に合わせて適切に取り付けてください。
- ドリルテンプレートは全面ラベル仕様であり、ラベルを付けた状態で取付金具を設置すると外形ライン（破線）の外側部分がはみ出します。外形ラインに沿ってハサミなどでカット、もしくは取付穴を開けた後、ドリルテンプレートをはがして取り付けてください。
- 設置場所の強度が不十分な場所には設置しないでください。やむをえず設置する場合は、事前に十分な補強を施してください。
- 設置するビスは緩みがないように最後までしっかりと取り付けてください。

2. 取付金具のカバーにあるビス4箇所をプラスドライバー（2番）ではずして、取付金具を開口してください。紛失を防ぐため、ビスは、完全に緩めても抜け落ちないようにになっています。



3. 取付金具の底面にある、防水ソケットキャップを取りはずし、LAN ケーブル及び、必要な配線ケーブルを組み付けてください。
ソケットは2種類あり、ケーブルの線径によって使う場所を決めてください。



A : $\Phi 3.5\text{mm} \sim \Phi 5.2\text{mm} \times 2$ (1ソケットに2箇所、通し穴有り、合計4本設置可)

B : $\Phi 5\text{mm} \sim \Phi 9\text{mm}$

【ご注意】

- ケーブル線径の違うソケットを使用すると、すき間から浸水する場合があります。ケーブル線径に見合ったソケットをご使用ください。
- $\Phi 3.5\text{mm}$ 以下のケーブルを使う場合は、クッション、自己融着テープをケーブルに巻いてソケットの口径にした状態でソケットを通してください。
- ケーブルを通さないソケットについては、防水対策のため、防水ラバー、ソケット本体、キャップをはずしたまま設置しないでください。

4. 防水ソケットキャップ、防水ラバーの栓を取付金具からはずして、ケーブル（LANケーブル等）を取付金具の内部に配線して、はずした防水ソケットキャップを締め付けてください。



【ご注意】

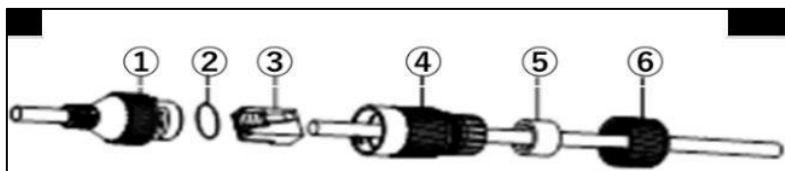
- 防水ソケットキャップの締め付けは、組み付けたケーブルを下方方向に強く引っ張っても動かなくなるまでおこなってください。その後、レンチを使用してソケットキャップを0.5~1回転ほど増し締めしてください。



5. LANケーブルに、防水ジャケットを取り付けてください。
ケーブル抜け防止の観点から、屋内設置の場合においても防水ジャケットの取り付けを推奨します。



- ① イーサネット端子(カメラ側部品)
- ② パッキン(カメラ側部品)
- ③ RJ-45 コネクタ
- ④ 防水ジャケットカバー
- ⑤ ガasket
- ⑥ 防水キャップ



1) ⑥、⑤、④の順に LAN ケーブルに通してください。



へこみがある方が奥になるように組み付ける



2) RJ-45 コネクタカシメ圧着工具を使用して、③を LAN ケーブル先端にかしめてください。ストレート結線にしてください。



3) ①に②が装着されている事を確認してください。



4) ①と③を差し込み④と結合してください。

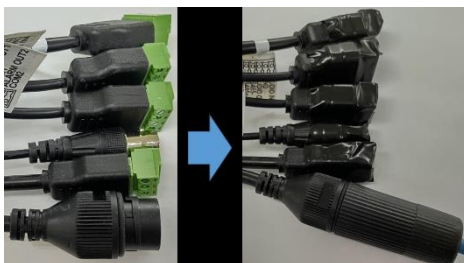


【ご注意】

- RJ-45 を取り付けた後に、LAN ケーブルチェッカーを使ってケーブルが適切に導通していることを確認してください。
推奨チェッカー：LAN-TST5(サンワサプライ製)
- PoE 給電装置と接続して、給電が適切に行われていることを確認してください。

※未使用の端子は自己融着テープなどを使用して防水処理を施してください。

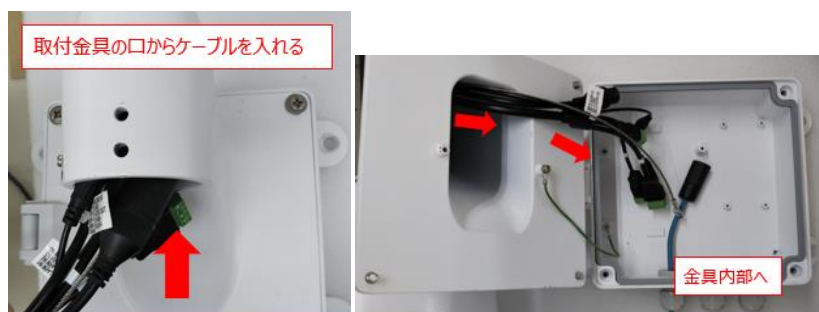
また、雨水の影響を受けない環境下(屋内など)に設置する場合も、誤接続を避けるため、同様に端子部をテープで塞いでください。



【ご注意】

- ガスケットの向きを間違えて取り付けるとすき間から浸水する場合があります。正しい方向で取り付けてください。
- 防水処理を施すときは、すき間が生じないようにしてください。
- シーリング材を用いる場合、シロキサンを抑制したものを使用してください。

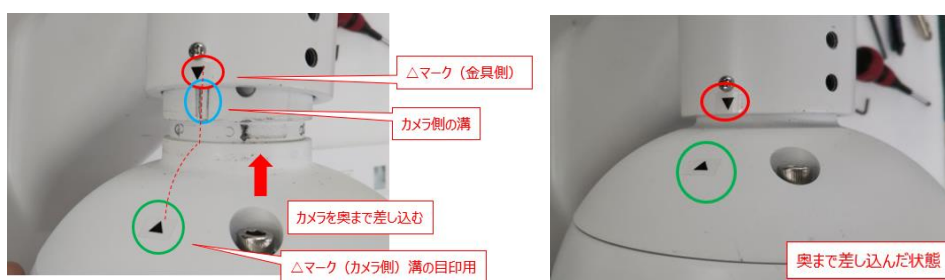
6. カメラ本体のケーブル式を取付金具の口から通して取付金具の中に収めてください。



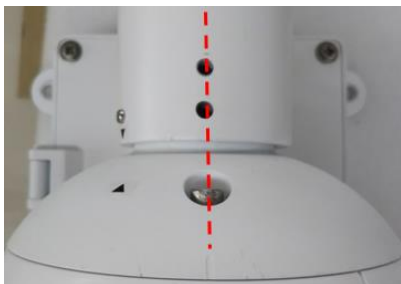
7. 取付金具の○部ビスがプラスドライバー（2番）でしっかり締まっている事を確認してください。



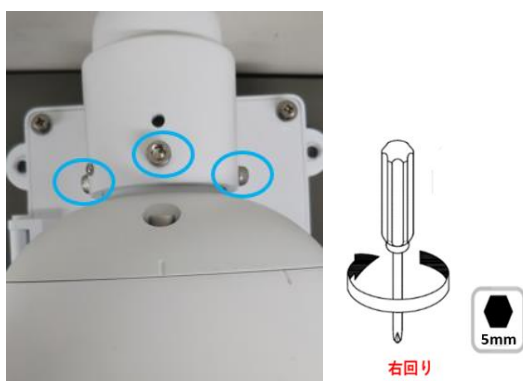
8. 取付金具のビス下の△マークラベル(○部)位置とカメラ本体の溝位置(○部)を合わせて、カメラを取付金具の奥まで差し込み結合させてください。○部の△マークラベルは、取付金具を取り付けた後、カメラの溝位置が分かるための目印です。奥まで正しく差し込んだ状態でカメラを反時計周りに取付金具と接触するまで回して、カメラが落下しないようにしてください。



9. カメラを取付金具と接触する位置まで回したら、取付金具のビスとカメラのビス位置が一直線に並ぶことを確認してください。



10. 取付金具○部3箇所の、六角穴付きボルトを六角ドライバーで締めてください。



【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 緩み対策として、ネジ山に後付けのロックタイトを適切な量塗布することを推奨します。

11. 取付金具の内部にカメラ本体の落下防止ワイヤーをビスで固定してください。



【ご注意】

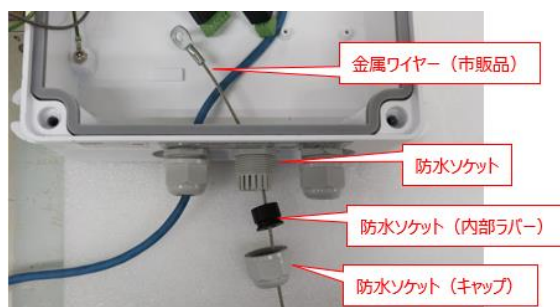
- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 必ずカメラ本体の落下防止ワイヤーを取付金具のワイヤー固定位置に繋げて安全対策を施してください。

12. ケーブル類（LAN ケーブルなど）を接続します。

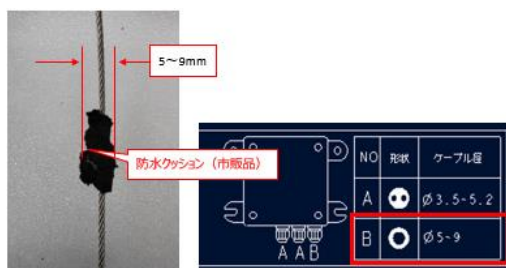


13. 取付金具の防水ソケットをはずして、準備した落下防止用の金属ワイヤー（市販品）をソケットの穴に通してください。

※金属ワイヤー（市販品）は落下防止のため、使用することを推奨します。使用しない場合は、P. 19 の 18 より作業を進めてください。



14. 金属ワイヤー（市販品）に防水クッション等（市販品）を巻いてソケットの口径に調整してください。



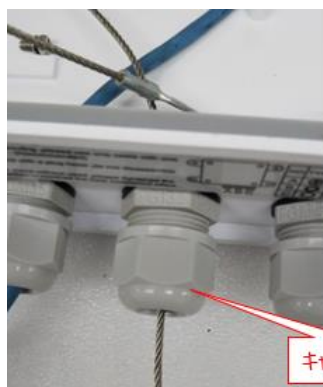
15. 金属ワイヤー（市販品）に巻き付けた防水クッション（市販品）を防水ソケットのラバー部分の内部に差し込み、防水ソケットを取付金具に組み付けてください。



防水ソケット（内部ラバー）



内部ラバーをソケット本体に取り付ける

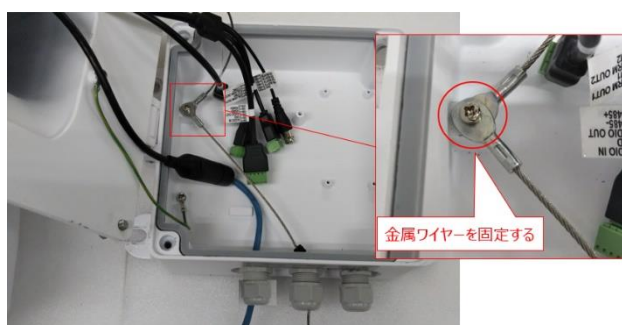


キャップを締める

【ご注意】

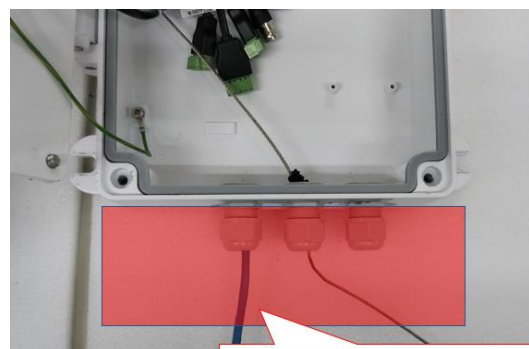
- 防水ソケットキャップの締め付けは、組み付けたケーブルを下方向に強く引っ張っても動かなくなるまでおこなってください。その後、レンチを使用してソケットキャップを0.5~1回転ほど増し締めしてください。

16. 金属ワイヤー（市販品）を取付金具にプラスドライバー（2番）を使用して固定してください。



金属ワイヤーを固定する

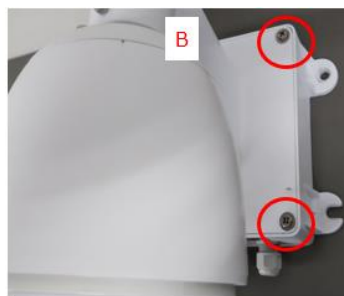
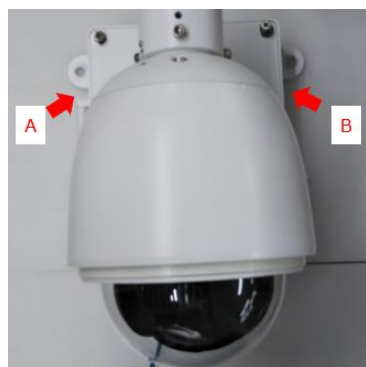
17. 金属ワイヤー（市販品）を準備したアイボルト等を壁面に取り付け、固定してください。



【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 落下防止用ワイヤーが取付金具とカメラ本体に正しく繋がっている事を確認してください。
- 金属ワイヤー（市販品）を壁面に固定するときに、取付金具の真下に設置しないでください。万一、取付金具が落下した場合、取付金具がアイボルト等にぶつかり、同時に落下するおそれがあります。

18. 取付金具のカバーを閉めて、ABの2箇所にある4本のビスをプラスドライバー（2番）で締めてください。



【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 取付金具のパッキンとケーブルがはみ出さないようにしてください。
- 取付金具のパッキンがはずれた場合は、正しくはめ直してからカバーを閉じてください。



19. 取付金具に付属している六角穴付きボルトで金具○部に六角ドライバー等を使用してカメラ本体を取付金具に固定してください。



【ご注意】

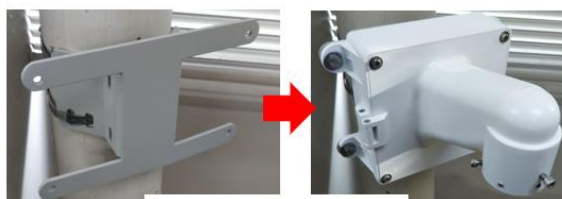
- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- ネジ山が隠れるまでしっかり締め付けてください。
- 緩み対策として、ネジ山に後付けのロックタイトを適切な量塗布することを推奨します。

【YC-MP02 との組み合わせでの設置】

本金具はポール（支柱）設置専用金具です。

金具をポールに取り付け、取り付けした本金具に、壁面設置用金具（YC-MW02）を組み合わせることで設置してください。設置する方向は、カメラ自体が吊り下げられた状態（レンズカバーが真下となる）となるようにしてください。

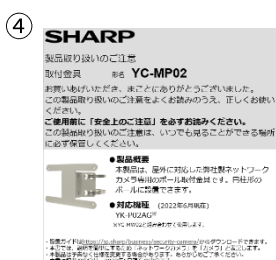
それ以外の方向での設置は、落下やカメラの内部に雨水が浸水するなどして故障の原因となるため、絶対にしないでください。



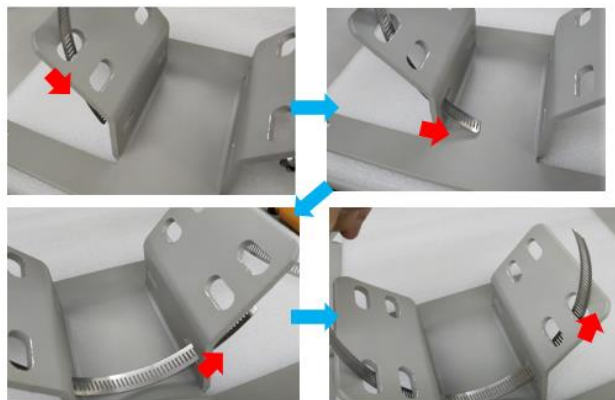
ポールに設置したYC-MP02に、
YC-MW02を取り付ける

付属品

- ① 六角ボルト 3/8 インチネジ(ビス) ×4
- ② 平ワッシャー ×4
- ③ ポール固定金具(取付範囲Φ112～Φ170) ×2
- ④ 製品取り扱いのご注意 ×1



1. 取付金具にポール固定金具（以下、金属バンド）を組み付けてください。上下2本設置してください。



金属バンド、1本目を取り付けた状態



2本目を取り付けた状態

2. 金属バンドを付けた取付金具をポール（支柱）に設置してください。ポールと取付金具の○部が接触している事を確認してください。



【ご注意】

- 使用できるポール径は、 $\Phi 112\text{mm} \sim 170\text{mm}$ です。
- 設置作業時は、手袋などの防護具を着用して作業してください。金属バンドなどで手指を切る原因となります。
- 金属バンドの締め付けは、緩みがないようにしっかり締めてください。
- 木材や樹脂など、強度が十分でない材質や、長期間使用したときに紫外線劣化などで強度低下が予想される材質には、落下の原因となるため、設置しないでください。
- 付属品の金属バンド以外で設置しないでください。

3. 金属バンドを六角ボックスドライバー（先端サイズ 8mm）で締め付けてください。



4. 金属バンドを締めた後、取付金具がポールに接していること、金属バンドが緩んでいないことを確認してください。



5. ポールに取り付けた本金具（YC-MP02）に壁面用の取付金具（YC-MW02）を付属の六角ボルト、平ワッシャーを使用して取り付けてください。

取り付けは六角ボックスドライバー（先端サイズ 14mm）で緩みがないようにしっかりと締め付けてください。



【ご注意】

- 緩み対策として、ネジ山に後付けのロックタイトを適切な量塗布することを推奨します。

6. カメラをポールに取り付けた壁面用の取付金具（YC-MW02）に設置してください。
設置方法は P. 10 の【YC-MW02 との組み合わせでの設置】をご確認ください。

【YC-MC01 との組み合わせでの設置】

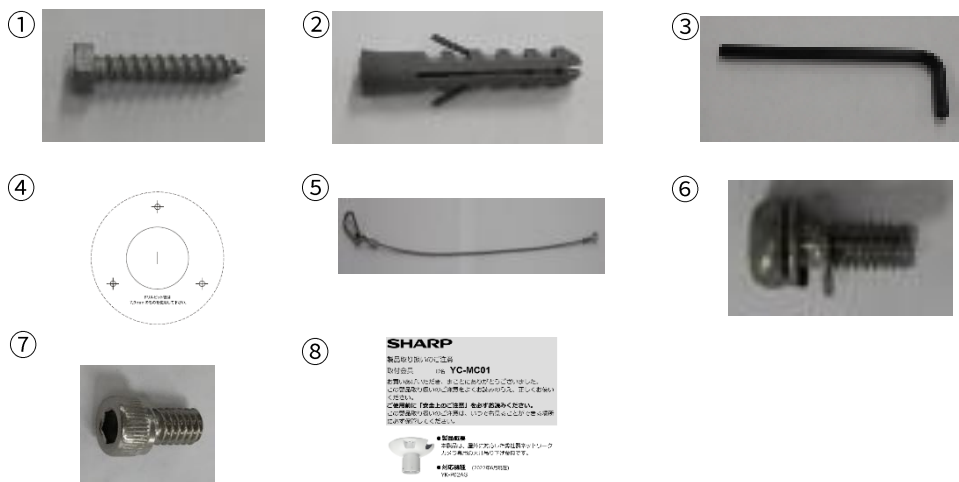
本金具は天井設置専用金具です。

金具を天井に取り付け、カメラ本体が吊り下げられた状態（レンズカバーが真下となる）となるように設置してください。

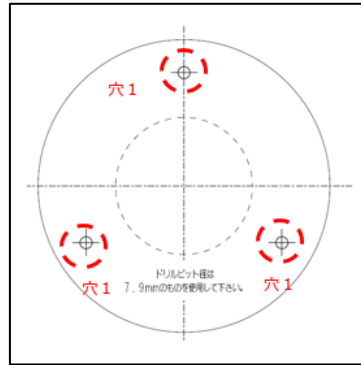
それ以外の方向での設置は、落下やカメラの内部に雨水が浸水するなどして故障の原因となるため、絶対にしないでください。

付属品

- ① 1/4 インチタッピングビス ×3
- ② アンカー（コンクリート専用） ×3
- ③ 六角レンチ ×1
- ④ ドリルテンプレート ×1
- ⑤ 落下防止用ワイヤー ×1
- ⑥ 落下防止用ワイヤー固定ビス M4-10 ×2
- ⑦ カメラ固定用六角穴付きボルト 1/4 インチネジ（ビス） ×3
- ⑧ 製品取り扱いのご注意 ×1



1. LAN ケーブルに、防水ジャケットを取り付けてください。
ケーブル抜け防止の観点から、屋内設置の場合においても防水ジャケットの取り付けを推奨します。
取付方法は P. 12 の 5 をご確認ください。
2. 付属のドリルテンプレートの穴 1 に合わせてドリルで設置場所に下穴を 3 ヶ所あけてください。コンクリートに取り付ける場合にはΦ7.9 の穴を開けて、付属のアンカーを差し込んでからネジを締めてください。
天井を通してケーブルを配線する場合は、ドリルテンプレート中央位置に穴を開けてください。
また、側面開口部からケーブルを配線することも可能です。その場合にはドリルテンプレート中央位置に穴を開ける必要はありません。



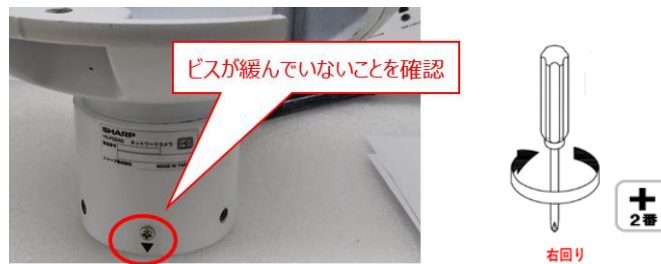
3. 取付金具に付属している落下防止用ワイヤーを「A」の○位置に取付金具に付属のビスを使用して取付金具にプラスドライバー（2番）で組み付けてください。落下防止用ワイヤーの「B」には天井、壁に設置したアイボルト等に繋げてください。落下防止用ワイヤーは、安全のために使用することを推奨します。使用しない場合は、次項から作業を進めてください。



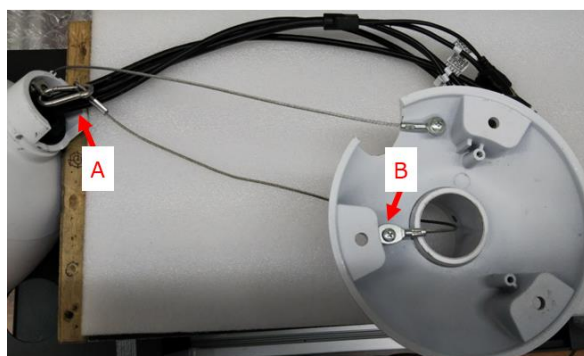
【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 取付金具に組み付けた落下防止用ワイヤーは天井または、壁に繋げて必ず安全対策を施してください。落下防止用ワイヤーを繋げる天井または、壁には固定用に、必要に応じて別途アイボルト等を準備してください。

4. 取付金具の○部ビスがしっかり固定されていることを確認してください。



5. カメラ本体の落下防止ワイヤーを取付金具付属品のビスを使用して、プラスドライバー（2番）で「B」に取り付けてください。



【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- 必ず落下防止ワイヤーを取付金具と繋げて安全対策を施してください。

6. カメラ本体のケーブルを取付金具の口を通して LAN ケーブル及び必要な配線を接続してください。





【ご注意】

- 取付金具は、側面のケーブル開口部の角が鋭角となっているため、取り付け時に触らないようにしてください。

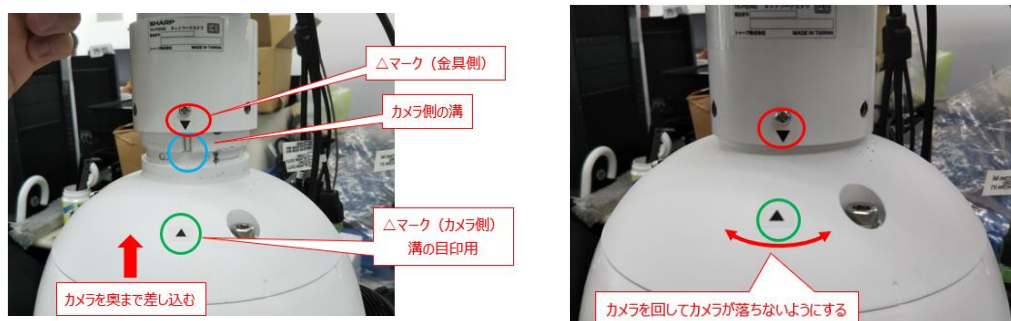
7. 取付金具 YC-MC01 を、ドリルテンプレートの穴位置に合わせて天井にプラスドライバー（2番）を使用して組み付けてください。



【ご注意】

- 付属品の天井設置用ビス（M5. 1-30mm）は鉄製ビスにジオメット処理（防錆表面処理）をしていますが、ビスに傷が付いたりして、雨水などがあたる屋外に長期間設置した場合、傷の部分からビスが腐食してカメラ本体及び取付金具が落下するおそれがあります。
カメラを屋外に設置する場合（特に雨水があたりやすい場所）は、腐食しにくいステンレス製のビスを準備して設置してください。

8. 取付金具のビス下の△マークラベル(○部)位置とカメラ本体の溝位置(○部)を合わせて、カメラを取付金具の奥まで差し込み結合させてください。○部の△マークラベルは、取付金具を取り付けた後、カメラの溝位置が分かるための目印です。奥まで正しく差し込んだ状態でカメラを左右どちらかに回してカメラが落下しないようにしてください。奥まで正しく差し込んでいないと回すことができません。



9. 取付金具の△マークとカメラ本体のビス位置が一直線に並ぶ位置まで回してください。



【ご注意】

- カメラ○部の上側に取付金具を取りはずすための溝が設けられているため、金具の○部ビス位置からズラしてカメラが落下しないようにしてください。

10. 取付金具○部(下図A、B位置3箇所)を取付金具に付属している六角穴付きボルトを使用して六角ドライバーで取り付けてください。



【ご注意】

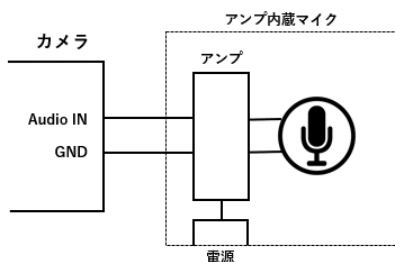
- 1.47N·m(15kgf·cm)以上のトルクで締め付けてください。

オーディオ端子、アラーム端子、ビデオ出力端子の接続

【オーディオ端子の接続】

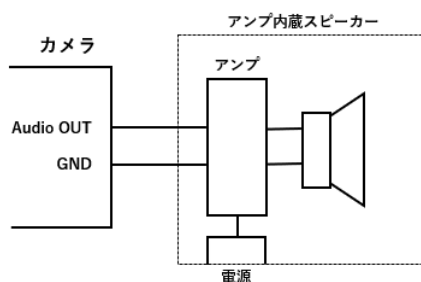
・ Audio IN

アンプを内蔵した外部マイクに接続することができます。マイクを動作させる電源（ACアダプター等）は別途必要となります。



・ Audio OUT

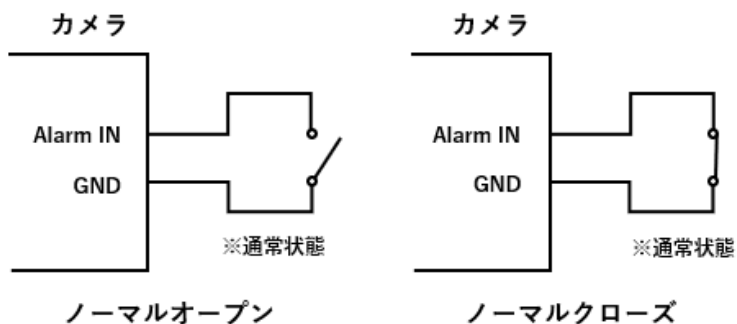
アンプを内蔵した外部スピーカーに接続することができます。スピーカーを動作させる電源（ACアダプター等）は別途必要となります。



【アラーム端子の接続】

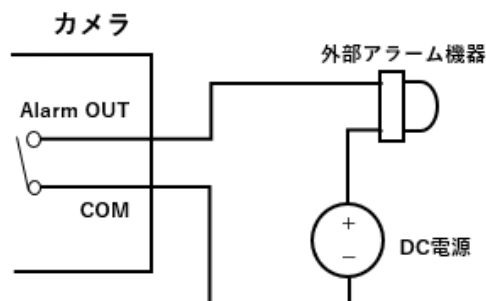
・ Alarm IN

接続する機器に合わせて、通常接点が解放されている状態のNO（ノーマルオープン）か、通常接点がつながっている状態のNC（ノーマルクローズ）かを選択して使用できます。



・ Alarm OUT

ブザーやパトライトなどの外部アラーム機器を接続することができます。外部アラーム機器を動作させる電源は別途必要で、電圧：40V、電流：300mA までの範囲で使用できます。



(カメラ内部の動作はイメージです。)

【ビデオ出力端子の接続】

・ Video OUT

アナログ端子のあるディスプレイに接続し、設置現場での映像確認に使用することができます。同軸端子があるディスプレイと接続が可能で、カメラとディスプレイは同軸ケーブルで接続します。

カメラの初期化方法

1. P.6「microSD メモリーカードをセットしてください」の1に従って、レンズカバーをはずしてください。
2. カメラと PoE 給電装置に、LAN ケーブルを接続して起動してください。
3. リセットボタンを 20 秒以上押してから離すと、初期化処理が開始されます。およそ 50 秒後、カメラは工場出荷時状態に初期化され、その後、自動的にカメラが再起動します。
4. P.6「microSD メモリーカードをセットしてください」の3 (P.9) に従ってレンズカバーを取り付けてください。



【ご注意】

- カメラと NVR を接続している場合は、NVR の「ネットワークランプ」が一度消え、再び点灯します。
- カメラの IP アドレスが、初期値 (192.168.0.200) に戻ります。
- ユーザーアカウントは消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

付録

【設置に必要な工具・機材】

- ・ LAN ケーブル (2 本 : ①カメラ—PoE ハブ間、②PoE ハブ—PC 間)
- ・ ドリル (アンカーを使用する場合)
- ・ プラスドライバー (2 番)
- ・ RJ-45 コネクタ ×1
- ・ RJ-45 コネクタカシメ圧着工具
- ・ ボルト (YC-MW02、YC-MP02)
- ・ アンカー (YC-MW02、YC-MP02)
- ・ 六角ドライバー
- ・ 六角ボックスドライバー 8mm/14mm (YC-MP02)

【準備を推奨する工具・機材】

- ・ microSD メモリーカード (動作することを確認済みのもの)
※カメラのメモリーカードスロット動作確認用
- ・ PoE パワーインジェクター (問題切り分けのため)
※事前に給電タイプが TypeA か TypeB かを確認してください。
- ・ テスター (ケーブルの断線など確認のため)
- ・ ノートパソコン
※LAN ポートがない場合には、別途 LAN アダプターが必要です。
- ・ PoE 対応 LAN ケーブルチェッカー
※例 : LAN-TST5 (サンワサプライ製)
- ・ レンチ (増し締め用)
- ・ 金属ワイヤー 推奨 : 80cm 以上 (落下防止用)
- ・ アイボルト等 (金属ワイヤー取付用)
- ・ ロックタイト
※例 : 1401B(スリーボンド製)
- ・ 防水クッション
※例 : エプトシーラーNo. 686(日東エルマテリアル製)